

# わたしたちにできること

市は昨年5月に内閣府より「SDGs未来都市」に認定されました。持続可能な(住み続けられる)まちづくりに向けた市の取り組みや私たちができる身近なことについて、5回(7・8・10・12・3月)に分けて紹介します。

## SDGs未来都市 菊池市

### ごみを減らして、循環型社会を実現しよう

循環型社会とは、限りある天然資源をなるべく使わず、できるだけ環境に負担をかけない社会のことをいいます。家庭から出るごみを減らすことも、循環型社会の実現に向けた取り組みの一つです。

【問い合わせ先】環境課 ☎0968(25)7217

### そのまま捨てていませんか？ 廃食用油をクリーンエネルギーに

廃食用油(植物性の油)は捨てればごみですが、回収してリサイクルすることで、バイオディーゼル燃料という新たな資源として生まれ変わることができます。



バイオディーゼル燃料は、原料となる植物が成長過程で二酸化炭素(CO2)を吸収しているため、実質CO2を排出しないカーボンニュートラル燃料とも言われています。令和3年度の廃食用油回収量は2,271Lで、約4,542kgのCO2排出削減ができた計算になります。

市役所庁舎で随時回収していますので、市民の皆さんも身近で簡単に取り組むことができます。ごみの減量化や石油資源の節約に加えて、豊かな自然環境というバトンを次世代の子どもたちに渡すためにも、ぜひ廃食用油のリサイクルにご協力をお願いします。

#### 廃食用油の拠点回収

油は軽くこして冷めてから、油が入っていたポリ容器やペットボトル(500mL~2L)に入れて出してください。賞味期限が過ぎた油も回収しています。

回収場所	市役所本庁舎、七城支所、旭志支所、泗水支所
回収時期	平日(開庁日) 午前8時30分~午後5時15分

※専用の回収ボックスを設置しています

回収できる油	サラダ油、なたね油、ごま油、オリーブ油など
回収できない油	豚油(ラード)、牛脂(ヘット)、固化しやすいパーム油やヤシ油、灯油、エンジンオイルなど



#### 生ごみの減量化を支援します!

市では生ごみを減量・資源(堆肥)化できる電動式生ごみ処理機や生ごみ処理容器の購入費用に補助金を交付しています。

##### 【補助金】

1世帯1機につき、購入価格の3分の1以内を補助します。電動式は2万円、その他の処理機は3,000円が限度額です。



#### アプリを利用しよう!

「菊池市ごみ分別アプリ」を配信しています。家庭ごみの分け方や出し方、ごみ収集日などをスマートフォンやタブレット端末で簡単に検索できるアプリケーションです。登録は無料。ぜひ、ご利用ください。



Android用



iPhone用

## 社会を明るくする運動

法務省が主唱する「社会を明るくする運動」。市内の中小高校生を対象に犯罪や非行のない地域社会づくりをテーマに作文を募集しました。広報きくち9月・10月で各部門の最優秀作文を紹介します。



中学生の部最優秀作文

### 罪の裏に

泗水中学校3年 木下逢音さん

私は、作文のテーマを読んで、何を書けばいいかとても迷った。それは、犯罪や非行について自分には関係の無いことだと思っていたからだ。しかし、身の回りに目を向けてみると、自分の身近なところでも犯罪が存在していることに気づいた。

先日、学校の公共物への落書きについて考える機会があった。公共物への落書きの話は聞き、私はすぐに怒りが沸き、「誰がしたのか。」とばかり考えていた。しかし、友人との会話の中で、友人が「その人はなぜ犯罪を犯してしまったんだろう。私にできることはなかったのか。」と言った。私はその言葉にハッとされた。犯罪を犯してしまっただけで許されることではないが、してしまうまでには何があったのか、思い詰めることがあったのではないだろうかという「犯罪に至るまでの背景」を考えてみようと思った。そして、私とは関係ないではなく、「罪を犯さない環境作り」が大切だと気づいた。

私は、罪を犯した人の背景について考え、自分にできることを二つ見つけた。

一つ目は、教室や学校の環境を整えることである。以前はその大切さに気づくことができていなかったが、最近

は意識して取り組んでいる。「心の状態は身の回りの環境に出る」と聞き、納得した。実際に世界各地でのそのような事例も聞く。身の回りが片付けば、心も片付き、苛立つて物や人に当たったり罪を犯したりするということが減ると考える。片付けで困っている人がいたら、自分が勝手にしておくのではなく、声をかけてその人と一緒に行動し、そこで共に心も整理しようと思う。

二つ目は、生徒会執行部としてのあいさつ運動や、「立ち止まって」あいさつを行うことである。学校に行きたくないと思っている人も、あいさつをきっかけに、自分が必要とされているという実感をしてほしいと思う。そして笑顔の登校を実現してほしい。また、先生の話の中で、立ち止まってあいさつを行う事は、「そこに存在してくれてありがとう。」というメッセージが込められていることを知った。必要とされたい、誰かに構ってほしいという気持ちから罪を犯す人も少なからずいると思う。私はあいさつをした人全員に「自分は必要とされている大切な存在」ということに気づいてほしいという思いから立ち止まってあいさつを続けている。

そして、最近よく聞くのがSNSを

中心とした誹謗中傷である。これは、その場の感情でついしてしまう人も多いと思うし、私もそれに流されそうになることがある。しかし、これは犯罪であること知った。なぜ文句や悪口を言ってしまうのか、その背景を考えた。悪口を言う人は、心から安心することができない状態が続いてしまい、相手の存在を否定することで、自分を保つてしまおうという心の働きが起きている。まうのではないかとこのことである。

これは自分自身にも当てはまると思う。だから、自分と相手の存在を認め合い、そして心から安心できる空間を作るために、相手の立場を尊重して過ごすことを大切にしていきたい。多様性を認め合い、みんながくらしやすい社会の実現につながるよう行動したい。

これから生きていく中で、様々な犯罪や非行について見聞きすると思うが、自分自身の問題としてとらえ、その背景にまで目を向けられる人になりたい。悩んで罪を犯してしまう人が少しでも減るように、私はたくさんの人が「自分が必要な存在だ」と思える環境作り、そして「あいさつ」をしてほしいと思う。考える・思うだけでなく、自ら行動することでこの考えを広めていきたい。